

# やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2022 **10**  
令和4年10月27日発行  
No.118

やまのべ  
議会だより

2022年10月号 VOL.118



## ふるさとへの想い

|        |                   |     |
|--------|-------------------|-----|
| 定例会    | 令和3年度 予算はどう使われたか？ | 2～5 |
| 議案審議   | 補正予算審査・臨時会        | 6   |
| 一般質問   | 町政のここはどうする？       | 8   |
| 提言書提出  | これからの町政に生かすために    | 9   |
| 議会活動報告 | 新しい町への挑戦          | 10  |

写真／山辺中学校オペラコンサート  
(関連記事 12ページ)

発行／山形県山辺町議会  
編集／広報常任委員会

Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp  
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地  
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112

山辺町議会  
ホームページは  
こちら



●発行／山形県山辺町議会 ●編集／広報常任委員会  
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷／藤庄印刷株式会社

山辺町出身の  
オペラ歌手

## 藤野恵美子さんより メッセージ

生まれ故郷山辺町、育てていただいた小学校、山辺中学校。そして9月15日、山辺中学校の素晴らしい校舎で『藤野恵美子arigatoコンサート』をさせていただきます、「もののけ姫」の主題歌や日本歌曲、カンツォーネ、オペラ・アリアなど8曲を山辺中学校の一年生の皆様の前で歌わせていただきました。幼いころ私の中にあつた音楽と、学んでいくクラシック音楽との出会いがこの町にあつたという事を忘れたことはありません。音楽の授業でクラシック音楽に出会い、ベートーベンやモーツァルトの音楽に感動し、知らず知らずのうちに引き込まれていたのだと思います。そこから約50年経った今もその時の感動を忘れていません。音楽の学びの長い道のり、苦しくてやめてしまおうと思ったことも何度もあります。でも、私をいつも立ち

上がらせてくれたのも音楽でした。音楽と出会わせてくださった先生、生まれ故郷で出会った方々や友達、町のお店、山や田んぼ、左沢線…、私の原点が全てこの町にあります。どんな歌を歌う時も、この『原点』が曲の解釈や表現への源流になっているのだという事を強く深く実感しています。コンサートの最後の曲は「ふるさと」、わたしの想いと、感謝の気持ちをお伝えできればと思います。このたびのコンサートを受け入れて、機会を設けてくださった山辺中学校の校長先生はじめ先生方、関係して下さった皆様に、感謝の気持ちでいっぱいです。また、このような場に私の事を取り上げてくださり大変光栄に存じております。山辺町の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

藤野恵美子

### <藤野恵美子プロフィール>



山辺町立山辺中学校卒業。県立山形北高等学校音楽科卒業。国立音楽大学声楽科卒業。同大学大学院オペラ科修了。「フィガロの結婚」、「ドン・ジョヴァンニ」、「こうもり」、「カルメン」など多数のオペラに出演。ソロ・リサイタル「永遠のメロディー」で山形市芸術文化協会奨励賞を受賞。30年間にわたり「声楽家のためのイタリア語発音法」の研究と研鑽を積み、講習会を開催するなど後進の指導にも力を入れている。2020年4月から自作の合唱曲「こころのつばさ」他6曲をYouTubeでも発表。三つの女声合唱団の指揮を務めている他、小学校や中学校の合唱の指導も行っている。SALAMUSICA Canto Studioおよびラ・ヴォーチェ・ダンジェロ主宰。山形オペラ協会副会長。

## 表紙の説明



山辺中学校階段教室で、藤野恵美子さんによるarigatoコンサートが9月15日に行われました。3年生と2年生が不在のため、1年生のみのコンサートでした。山辺町出身の藤野さんは、ふるさとへの想いがあるふれるすばらしい歌声で生徒たちを魅了していました。聞き覚えのある曲やイタリアのカンツォーネなど、生徒たちの心の中に歌の可能性が広がったことでしょうか。同じ道を進む生徒も出てくるのではないのでしょうか。

## 編集後記

あんなに暑かった夏もあっという間に過ぎ、芸術の秋、スポーツの秋、美味しい山辺の秋がやってきました。柵田の杭掛けの美しさに見とれ、お洒落なニットは、見るのも着るのも楽しい季節となりましたね。

さて、今回の議会だより、少ないメンバーでしたが、なるべく早く皆さんにお届けしたいと、議会の会期中から編集会議を開き、各原稿はもちろん、写真も全て委員で調達しています。

出来上がるまで、苦勞もありますが、皆さんに親しまれ、手に取って読んで頂けるよう、これからも頑張らせて参ります。

遠藤 真由美 記

■発行責任者 樋口 和男  
■広報常任委員会 佐藤 利博  
委員長 遠藤 真由美  
委員 佐藤 利博

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<https://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>





町民福祉・行政サービスへ努力

令和3年度 一般会計・特別会計歳出総額

# 新型コロナウイルス

96億7496万円

認定

第3回  
定例会  
9/5~9/16

## 感染予防と町産業活性化に注力

令和3年  
主な  
重点事業

感染の重症化を防ぐ  
新型コロナワクチン接種事業に



1億3091万円

町の道路の除雪に

1億5802万円

安心安全のため、小型動力  
ポンプ付積載車、  
水難救助用ボートに

1082万円



いざという時のために

迅速な救急対策などのため  
消防事務委託に

2億755万円

小学校の感染症対策で  
トイレを洋式化に

2931万円

本庁舎維持管理工事に

1369万円

商工業の経済活性化対策



\*プレミアム付商品券、  
雇用確保応援給付など

4997万円

令和3年度ふるさと納税額  
(企業版含む)

1億9280万円

会計別決算明細

| 項目   | 歳入決算額         | 歳出決算額         |
|------|---------------|---------------|
| 一般会計 | 69億1449万420円  | 66億8349万8890円 |
| 特別会計 | 国民健康保険        | 14億2798万7733円 |
|      | 介護保険          | 15億9368万6072円 |
|      | 後期高齢者医療       | 1億7292万709円   |
|      | 計             | 31億9459万4514円 |
| 合計   | 101億908万4934円 | 96億7496万1760円 |

公営企業会計決算

| 項目        | 収益的収入        | 収益的支出        |
|-----------|--------------|--------------|
| 簡易水道事業会計  | 2773万3963円   | 3092万500円    |
| 公共下水道事業会計 | 3億9095万4952円 | 3億4464万1584円 |

監査委員報告



遠藤剛代表監査委員

令和3年度山辺町決算結果は、法令に準拠し作成されており、予算の執行状況も適正である。

歳入は、国や県からの有利な交付金および補助金を活用するとともに、交付金などの内容を十分調査研究し、山辺町に見合った事業を実施されることを望む。

歳出は、現在取り組んでいる各事業はPDCA\*サイクルを基に検証と見直し、改善を実施されたい。各種事業や団体への補助金は、個別の補助要綱もなく長期にわたり恒常的に安易に交付していないか、補助金本来の趣旨に沿った内容になっているか、事業実績など十分調査、検討してほしい。

最後に、今後一層進む少子高齢化を見据え、第5次山辺町総合計画を着実に実施するため、職員一人ひとりの創意と英知を結集し、歳出の見直しを積極的に行うとともに、財政の健全化を進め、町民サービスの確保を願う。

定例会のあらまし  
令和4年第3回定例会が、9月5日から9月16日までの12日間の日程で開催され、2人の議員が一般質問を行いました。また、決算委員会を設置し、令和3年度一般会計・特別会計・公営企業会計6議案の歳入歳出決算について審査しました。

\* Plan (計画)・Do (実行)・Check (評価)・Action (改善)、この4つを繰り返すことにより継続的に改善していく手法のこと







# 安心・安全なまちづくりを目指して 議案審議

歳入歳出予算の補正  
2億5134万円を追加し、  
それぞれ62億2576万円に

第3回定例会  
9月5日～16日

報告第4号

○令和3年度健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率について

実質公債費比率が10.5%で早期健全化の基準の25%を下回っており、また将来負担比率も3.2%で早期健全化の基準となる350%を大きく下回っており、公営企業の資金不足も生じていない状況にある。

請願

|      |  |    |      |
|------|--|----|------|
| 請願名  | 消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書を政府に送付することを求める請願   |    |      |
| 請願者  | 山形県農民連 会長 小林 茂樹  |    |      |
| 趣旨   | コロナ禍や物価上昇、ウクライナ危機が日本経済に影響を与える中、2023年10月からインボイス制度（的確請求書等保存方式）が実施されようとしているが農業者や中小事業者、フリーランスに多大な影響を及ぼすことから中止、凍結を求める |    |      |
| 紹介議員 | 峯田 博   | 結果 | 継続審議 |

令和4年度 山辺町一般会計補正予算

主な補正内容

|                   |          |
|-------------------|----------|
| 新型コロナワクチン接種対策事業   | 5418万円の増 |
| 山辺温泉エアコン更新工事      | 110万円の増  |
| 除雪機械購入事業          | 5465万円の増 |
| 山間部地域の光ファイバー網移設工事 | 682万円の増  |
| 福祉灯油購入費助成         | 255万円の増  |



## 新型コロナ対策、原油高騰・物価高騰対策に注力！

### 第3回臨時会 令和4年7月19日

#### 第3回臨時会のあらまし

令和4年7月19日に第3回臨時会が開催され、令和4年度一般会計補正予算（第3号）で1億5323万円の追加提案がありました。主に新型コロナウィルス感染症対策と原油高騰・物価高騰対策への対応との説明があり、委員会付託省略全員審議とし、全会一致で可決されました。

#### 主な補正予算額

##### 歳入

- 国庫支出金（新型コロナ感染症対応臨時地方創生交付金など） 7140万円の増
- 県支出金（地域消費喚起推進事業費補助金） 2032万円の増
- 繰入金（財政調整基金繰入など） 6150万円の増

##### 歳出

- 新型コロナ対策生活支援商品券配布事業 4596万円
- 中・作谷沢支所トイレ改良工事（新型コロナウィルス対策） 182万円
- 町民無料入浴補助金（原油高騰対策） 280万円
- 新型コロナ対応経済対策事業（第2弾プレミアム付商品券） 3260万円
- 新型コロナ対応経済対策事業（経営継続支援給付金） 2800万円
- 町立小・中学校給食費（10月～3月）無償措置負担金 3176万円

#### 人事案件

- 最上川中部水道企業団議会議員選挙 佐藤 利和
- 山形広域環境事務組合議会議員の選挙 峯田 博



#### 特別会計補正予算

| 会計名         | 予算増減       | 総額        |
|-------------|------------|-----------|
| 国民健康保険特別会計  | 672万円の減    | 14億8651万円 |
| 介護保険特別会計    | 1億6341万円の増 | 18億1612万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 86万円の減     | 1億8403万円  |





# 一般質問 町政のここはどうする?

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。



9月の定例会では、2名の議員が一般質問を行いました。

- 峯田 博** 会計年度任用職員  
会計年度任用職員の待遇や再任用は
- 武田啓一郎** コロナ対策  
コロナ感染者・家族に緊急生活支援を

**定例会のお知らせ**  
 次回の定例会は12月です。  
 傍聴については、町ホームページをご覧ください。  
 電話 023-667-1117 (議会事務局)

## 会計年度任用職員の待遇や再任用は

**峯田 博** (町長) 町政の重要な担い手  
より良い運用を図る

**質問** 会計年度任用職員は町の行政事務にとつて大きな役割を担っている。しかしながら、待遇や任期について改善が必要なのは。また、「フルタイム」の会計年度任用職員がない理由は。

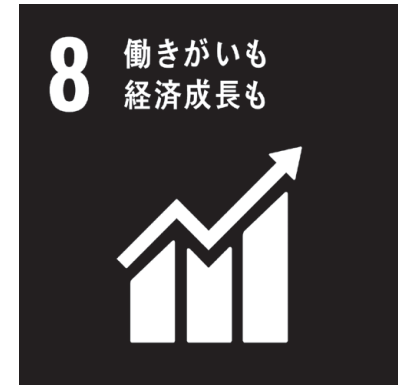
**答弁** 総務省のマニユアルでは、類似する常勤職員の給料表に紐付けたうえで上限を設定することが適当。町もマニユアルの趣旨にのっとり決定。加えて近隣市町との均衡も取りながら定めている。また、新制度は処遇改善が背景にあることから、些少ながら増額して設定している。

**質問** これまでも採用されてきた臨時・非常勤職員の制度の再整備・再構築を行ったもの。従来、当町にはフルタイムの臨時職員がいなかったことから、現時点でフルタイムがない状況。

**答弁** スキルアップ制度はどのようなものか。

**質問** 募集要項で明示されている報酬月額、山形県の最低賃金額に、極めて近いのでは。

**答弁** 一般的な新型コロナウイルスの影響により開催が限られ、会計年



**質問** 任期は、制度の名が表すとおり一會計年度内となっている。今後も制度や法にのっとり、公平に選考審査を行う。ただし、前任者の人事評価の査定を加味することは可能。優秀な職員は町の財産。全くの新人との差が出るのはやむを得ない。

**答弁** 任期は、制度の名が表すとおり一會計年度内となっている。今後も制度や法にのっとり、公平に選考審査を行う。ただし、前任者の人事評価の査定を加味することは可能。優秀な職員は町の財産。全くの新人との差が出るのはやむを得ない。

## 議会が「政策提言書」を提出

町の政策が発展的、効率的に行われるよう、各常任委員会でそれぞれ議論し検討してきた政策の方向性を「提言書」として取りまとめ、10月7日、樋口和男議長から町長に提出しました。

1. 普通財産活用等計画の策定  
普通財産の維持管理は、周辺に影響を与えないよう徹底されることはもちろんであるが、特に増えている旧教育財産などは処分なども含めた総合的活用計画を策定し、町民に対して早期に明示されたい。
2. 危険空き家発生の未然防止  
放置空き家対策として、町は地域・地区との連携で実態把握に努めている。これを基本に地域との連携を継続しながら危険な空き家に繋がらない協働の方策を講じられたい。
3. 山辺町消防団の団員定数改善  
消防団員の確保は喫緊の課題となっている。現在350人の定数に対して、実質251人となっており、定数に伴う負担金支出で乖離が生じている。早急な定数改善により、充実した団員確保対策を講じられたい。
4. 公共交通転換とした研究の主審  
高齢者のドア・ツー・ドアの、新たな交通手段の導入を研究検討されたい。
5. 万全な新型コロナウイルス感染症対策  
予断を許さない新型コロナウイルス感染症対策の、継続的な取り組みを望む。
6. 健康寿命推進の事業拡大など  
人生百年時代の健康寿命を支える、新たな健康とスポーツ事業を立案展開されたい。



政策提言書を提出

## コロナ対策 感染者・家族に緊急生活支援を

**武田啓一郎** (町長) 国や県とともに真摯に対応していく

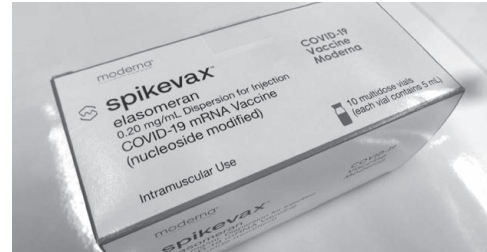
**質問** 感染したらどうしよう。多くの方が感染し続けている新型コロナウイルスから、日常生活の回復から、日常生活の極度な制限と不自由さが聞こえてきている。  
 自宅療養感染者、家庭内感染と濃厚接触者への生活支援などの内容と状況は。

**答弁** 県では、保健所を通じて症状の経過や体調について電話で聞き取りし、24時間体制で体調が悪化した場合の相談に応じている。

また、親族や知人などによる食料などの支援を受けることが困難な感染者を対象に、レトルト食品や日用品を無料で自宅に届ける支

**質問** 数週間にも及ぶ自宅待機を余儀なくされる家族内感染の例も出ている。速やかにそつとお力になれる手立てを思案実施すべき。行政の第2段階にあり、後遺症対策支援を含めた生活支援策の充実が求められるのではないか。

**答弁** 重要な課題だ。町独自の支援システ



感染拡大を防ぐには、まず3密を避け、手洗いそして、ワクチン接種を

**質問** 感染者の情報把握を、今後県がしていくとすれば、町の生活支援の案内を緊急広報し、支援申請や特化した相談窓口があることを伝える手立てをすべきでは。

**答弁** 現在、災害・県保健業務への派遣協力などもあり、限られた職員での対応となるため、今後の対応策などを踏まえて検討していく。



## 町の財産を生かし うるおうまちづくり

総務文教常任委員会

### 廃校跡地利活用の先進事例地を視察

村山市のにぎわい創造活性化施設として、2016年に閉校した「旧楯岡高校」の一部を活用した「リンクむらやま」へ8月29日、委員会を開催し、改修や今後について伺うため視察を行いました。

町内小中学校の閉校後の利活用については、これまでも一般質問や委員会で町の対応などを何度となく問



食事をしたり、会議ができるオープンスペース

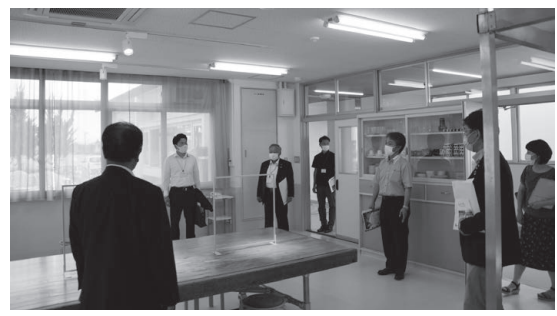
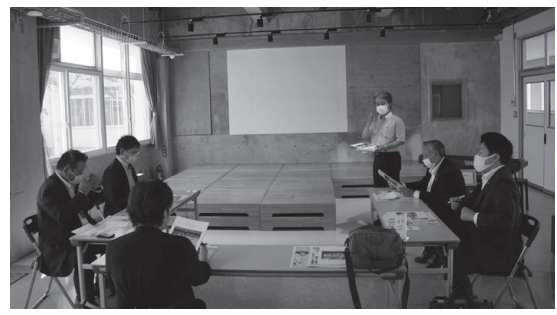
いただしてきた経過があります。「にぎわい」と「なりわい」の生まれる場所を求め、さらには校舎ならびに敷地の面影を残しながら、校舎の古材や家具を活用するなどの懐かしさを兼ね備えた当施設は8月22日にプレオープン。カフェや通信環境を整えた事務所スペース、会議室、市民向けフィットネス施設、IT企業、音楽会社など15事業者が入居し、さらに防災施設を組み入れた外構工事や旧体育館を活用した屋内広場の無料開放などがありました。

当町においても町内小中学校8校のうち5校が閉校となり、年々維持管理に要する経費が増してきています。町の長年にわたっての諸課題の一つであり、先進的な事例を参考にするなどし、早急に方針などを関係各課連携して策定すべきでないのでしょうか。

### 町文化財「畑谷城」の 空堀の被害状況を視察

町文化財「畑谷城」の空堀が鳥獣などにより随所に崩落箇所が見受けられ、8月29日委員会を開催し、被害状況を関係職員とともに確認してきました。

貴重な歴史財産の保持や保護のためにも、早急に町関係各課ならびに地域や関係団体が被害防止に向けた対策を講ずるよう申し入れしました。



イノシシ被害にあった空堀

厚生産業常任委員会

### かおりの広場に再度にぎわいを

玉虫沼農村公園（かおりの広場・ラベンダー園）と、村山コンポストの拡張計画現場へ8月18日、現場視察を行いました。

玉虫沼農村公園の現状は、温暖化や豪雨などの影響なのかラベンダーが枯れている所が随所に見られました。畝の高さや水はけ、土壌改良などを行いながら、補植や多年草を植え替えるなど、努力の跡が見られました。しかし、時間もかかることから、今後は立地を生かして芋煮会やバーベキューなどができる広場や、オートキャンプ場などへの用途変更も含め、検討する時期ではないかと感じました。

村山コンポスト（清掃・廃棄物処理業）では、広い施設内を社長から案内、説明を受けました。施設の中に設置された太いポリ塩化ビニル管は、地中を通して内部の臭気を脱臭し、放出しているとのこと。拡張に向けて樹木の伐採などの整備中でした。私たちにとってなくてはならない事業なので、議会としても町と共に経緯をみていきたいと思います。



みなさんが楽しめる広場に…



工場内で説明を聞く

朝日・山辺両町議会議員協議会

### 話題の施設を視察研修

朝日・山辺両議会の議員協議会が、9月21日、山辺町を会場に3年ぶりに開催されました。

山辺町が担当の今回は、最初にコロナ禍でも話題豊富な「オリエンタルカーペット」<sup>（仮称）</sup>の2カ所を視察。「嘶館」の2カ所を視察。

オリエンタルカーペットは、昭和初期に女性の働き場所を作りたいという創業者の思いから始まり、建物も当時のまま大切に使われています。工場の中では手織り職人さんの手さばきに皆さん見入っていました。

また嘶館は、50人規模のホールで落語やコンサートなどを楽しめる空間です。見晴らしの良い開放感溢れる建物の中で、峰田さんの熱い想いに真剣に聞き入りました。

視察の後は、両町共通の課題である道路整備や有害鳥獣被害の現状について情報交換を行いました。その他に松山付近での臭い問題も出され、今後両町で協力していくこととなりました。



一日に織れる長さは7~8センチ（オリエンタルカーペット）



さまざまな人と出える非日常空間をめぐす（嘶館）



3年ぶりに開催の議員協議会